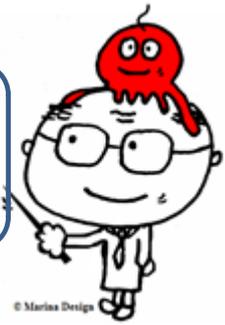


# 健康と食の安全・安心の問題を考えよう



開催日時：平成27年7月11日(土) 13:00~16:30

場所：鈴鹿医療科学大学 JART 記念館 100年記念ホール  
〒510-0293 鈴鹿市岸岡町1001-1 (近鉄千代崎駅より徒歩13分)  
(当日は職員および学生駐車場にお車を止めて頂くことが可能です)

参加費：無料

2025年には日本も鈴鹿市も医療費は深刻な状態になります。その解決策は市民が可能な限り病気にならないようにすることです。病気にならないためには健全な食生活、適度な運動、そして豊かな心が必要です。この講座では食を通して健康を維持するための方法を、最近の医学的成果を踏まえてお伝えします。

## 演 題

13:00 ~ 14:00

### コレステロールは高い方が長生きする

富山城南温泉第二病院(富山大学名誉教授) 浜崎 智仁先生

食事摂取基準2015版からコレステロールの摂取量を気にしなくても良くなりましたが、コレステロールが高いのは危険ではなくて、心配のいらぬことを分かり易くお話いただけます。濱崎先生はコレステロールを下げると騒がれていた時からその必要はないと唱えてこられた先生です。そして、その主張は最近やっと世界的に認められるようになってまいりました。作られた常識とその真実の話には胸躍る物があります。

14:10 ~ 15:10

### 無添加安全主義であなたの健康を本当に守れるか

鈴鹿医療科学大学 長村 洋一先生

食品添加物についてはその危険性安全性に関していつも科学的な見地に立って話される長村先生は、無添加こそ安全の重要なポイントといった考え方で行動すると、健康、環境、経済の破壊につながると警告を発しておられます。おいしく、健康な食事で健康を支えなければならない日本の6千万人の人々の食事と添加物の重要性について分かり易くお話頂きます。

15:20 ~ 16:20

### 健康食品と医薬品との上手な付き合い方

岐阜薬科大学大学院教授 北市 清幸先生

本年4月1日より施行されました機能性表示食品に関しては医薬品との相互作用を調べた食品でないと表示できません。このように最近とみに高まってきた食品や健康食品と医薬品の問題点についておなじみの北市先生に分かり易くお話頂きます。

主催：鈴鹿医療科学大学保健衛生学部 医療栄養学科 後援：一般社団法人日本食品安全協会

お問い合わせ先：鈴鹿医療科学大学(千代崎キャンパス)庶務課

Tel 059-383-8991 Fax 059-383-9666 e-mail: [homepage@suzuka-u.ac.jp](mailto:homepage@suzuka-u.ac.jp)